Rotary MATSUMOTO EAST
ロータリーのマジック
２０２４－２０２５年度会報
会長／飯嶌司　幹事／小林あや
2024.9.6.No.7 通算№1847

9月20日(金)の予定
休会（クラブ定款）
9月27日(金)の予定
→9/25 移動例会白馬北小

事務所／松本市深志1-1-21　中田歯科ビル5F
TEL:0263-36-7737　FAX:0263-36-6009
例会場/ホテルブエナビスタ　例会日/金曜日12:30
委員長/土屋久 副委員長/舘島豪
委員/百瀬敏男 小林正樹
太田隆治　眞峯透

☆★☆★☆★

迎を受け、様々な体験を通して、ロータリーのすべての人がファミリーとして繋がっていることを再認識したと、また、ロータリーが自分の居場所だと感じられるよう、自分にできることを是非考えてみて下さいという事です。

今月は、基本的教育と識字率向上月間です。ネパールとベトナムでのロータリーの活動を紹介しています。「世界の果ての通学路」というドキュメンタリー映画が２０１４年に日本で公開され、世界には学校はあるものの通うのに苦労している子どもたちがいて、そうした子どもたち抱える問題に手を差し伸べる日本のロータリークラブの活動を、Case-1 Nepal （橋本ＲＣ） と Case-2 Vietnam(豊橋ゴールデンＲＣ)として紹介しています。ネパールでは主に学校支援事業を 15 年近くにわたり継続して行い、支援すべき本質の部分を共有し、継続することの意義を伝えています。また、ベトナムにおいては、通学することへの問題の一つの解決法として自転車を寄贈して、楽しい学校生活を送って欲しいということを伝えています。いずれも、「基本的教育と識字率向上」を目的とした事業です。

次に 43 頁は指定記事になっています。42 頁の右下には野生型ポリオウイルスによる症例数が載っています。今年もロータリーと共にポリオをなくそうと 10 月 24 日が世界ポリオデーになっていますが、つい先日のニュースで、紛争地感染症の流行を懸念として、パレスチナ自治区ガザでは 25 年ぶりにポリオが確認され、戦時下の予防接種が始まったと報じました。その他にもエムポックス、コレラの感染が懸念されます。劣悪な環境の中で、長引く紛争は公衆衛生上の国際リスクとなりかねません。

【自己小伝】清水一彦会員

私は1952(昭和27)年、日照時間日本一の山梨県の明野村(現在の北杜市明野町)で農家の三男に生まれました。豊かな自然の中で養蚕や酪農、米作、野菜などの農業体験をし、とくに小学校通学前の桑摘み経験はつらい思い出として残っています。「自然力」が、私の生きる力として育ったと思いますが、農業から逃れるために越境入学を決意し、甲府一高に進学しました。自炊生活も経験し、文豪太宰治も愛用したといわれる銭湯“喜久乃湯”にも通いました。

大学教員を目指して東京教育大学教育学部に入学し、入学式の夜から家庭教師を始めて就職するまで延べ32人を教えたことはその後の「教育力」に繋がっています。学業よりサークルやアルバイトに専念した大学生活でしたが、大学紛争後の混乱期でのいい加減な単位制度運用状況が後の博士論文に結びつくとは思いもしませんでした。「研究力」の始まりだったかも知れません。大学院時代は教育制度学研究室に所属し、指導教員、先輩・後輩にも恵まれ、充実した研究生活を過ごすことができました。

筑波大学では、新構想大学から40年を迎えるにあたって新たに未来構想大学への移行を目指してさまざまな改革を実施してきました。教育担当副学長時代には、新構想大学の目玉の一つであった3学期制を改組し、6モジュールから成る春学期、秋学期の革新的なセメスター制へと変更し、また念願の小学校教員養成課程を設置することができました。グローバル教育院の設立や教育未来構想講座も開設しました。総務・人事副学長担当時代には、外国人、女性、若手の採用人事枠を配分(FLY人事枠)したり、優秀な職員の表彰制度などを実施したりしました。そして最後の学生担当副学長時代には、厚生会や紫峰会(同窓会)の見直しのほか、留学生(3名)と日本人学生(2名)とが生活空間をシェアする新たな宿舎「グローバルレジデンス」構想を立ち上げ、今では利用されています。ちょうどその時期が、政治、経済、社会等のいわゆる「改革サイクルの40年」と重なっていたことも好運だったと思います。

2015(平成27)年3月、長年勤めていた筑波大学を定年前に退職し、再び故郷の山梨県に戻り、山梨県立大学の理事長・学長に就任、6年間務めました。今度は「経営力」が試されることになりました。その後2年間の山梨大学理事・副学長、聖徳大学学長特別補佐を経て、今年4月に松本大学に赴任いたしました。これまでの基本的スタンスは、大学教育の質的向上に置き、大学戦略の未来設計の意義はまさしく連携や協働にあると信じています。このたびの松本東ロータリーへの入会を機に、さらに精進していきたいと思います。なにとぞよろしくお願いします。

【松本市より渋滞対策についての説明】

松本市交通部交通ネットワーク課渋滞対策担当
奥原裕司様
降旗祐人様

松本市では、現在、平日朝夕の交通渋滞の緩和を目指して、対策を実施しています 。渋滞対策に一番効果的なのは、道路拡幅、道路整備等のハード整備ですが、整備までには、 用地取得から整備完了までに長い時間を要することから、 現在、国県市などの道路管理者が計画的に道路整備を進めています。引き続き、推進を要望していきます。また 市内の企業にご協力いただき、一定期間、通常よりも時間をずらした通勤やバス、電車などを使った通勤等で混雑ピークを分散し、平日朝の混雑緩和を図る取組みを実施し ています 。今年度も同様の取組みを 10 月 7 日(月)～ 11 日(金)の期間で 予定しています。ぜひ、会員各社の皆様にも周知いただき、ご参加をお願いします。

【点鐘 13：30】 **飯嶌会長**